

現状の課題

- ・現状の課題: 生徒の発信力の強化 コミュニケーション能力の育成
- ・手だて: 段階を追った積み重ねによる指導。自分の考えを伝える活動、スピーチ・会話活動の充実

具体の取組の内容

- ・法政大学飯野教授、北部教育事務所指導主事を指導者として招き、7月31日に小・中学校合同英語研修会を実施した。
- ・飯野教授、北部教育事務所指導主事を指導者とし、10月16日に3年生の公開授業を行った。中学校のCAN-DOリストを提示し、小・中・高の英語担当教員と研究協議を行った。
- ・研究発表会は、1月29日に北部教育事務所管轄小中高等学校対象に1年生の授業を公開し、取組を発表する予定である。(参加予定50人)



成果①

☆小・中・高の系統性を考慮したCAN-DOリストの作成。

秩父市立尾田蒔中学校

1年生「I can do!」リスト (Speaking編)

No. Name		Can Do		
NO		1学期	2学期	3学期
1	天気・曜日・時間など簡単なあいさつから始めて、好きなものなどについて尋ねたり、答えたりしながら友達と30秒程度話をするができる。(やり取り)			
2	1日の生活について友達と尋ねたり、答えたりしながら30秒程度話をするができる。(やり取り)			

☆授業中における生徒の会話時間の増加

成果②

英語による発問・指示、生徒の発言への切り返しに対する技能が向上し、英語学習の喜び、言語活動の活性化、授業の流れの向上が見られた。
 スモールトーク
 ペア学習Q&A
 クラスルームイングリッシュ
 ALTとの会話・アクティビティ

今後の課題・方向性

- ・発信力向上のためには、自らの考えを人に伝えたい、共有したいという「意欲」とそれを伝えるための知識・技能を育成することが必要である。
- ・系統性のある小・中・高のCAN-DOリストの作成と実践。
- ・小学校、高等学校との連携の継続。